

安心して暮らせる街のために

これが私たちの仕事



全国には約 5,800 人の女性消防士がおり、消防隊、救急隊、救助隊、119 番を受信する指令業務、火災を未然に防ぐ予防業務など様々な業務で活躍されています。

備北消防では、現在 3 名の女性が救急隊などで活躍しています。女性消防士が増えることで、消防業務の幅が広がるとともに、女性目線で業務を行うことによって、住民サービスの向上に繋がります。

女性消防士 Q&A

Q 女性という理由で採用が不利になりますか。

A 採用試験は、男女関係なく公平に行います。(※体力測定の基準得点は、男女別)

Q 体力に自信がなくても大丈夫ですか。

A 採用後、初任教育として広島県消防学校(全寮制)に入校し、基礎教育を受けます。そこで、消防士として基礎的な知識・技術・体力を身につけます。

Q 勤務時間はどのようになりますか。

A 交代勤務と毎日勤務があります。

交代勤務は 24 時間勤務(8 時 30 分から翌日の 8 時 30 分まで。24 時間勤務の中には、仮眠時間、休憩時間が約 8 時間程度含まれます。)で、勤務明けとなる翌日は非番日となるため、実質 1 日おきの勤務形態となります。また、週に 1 度は、週休日(日勤者の土日にあたる休日)があります。そして、毎日勤務は 8 時 30 分から 17 時 15 分までで、週 5 日の勤務となり、暦通りの勤務となります。

Q どこで仮眠するのですか。

A 女性専用の個室(シャワー室、洗面所、トイレ付)です。

現在、三次と庄原の消防署にあります。

Q 髪や化粧について決まりはありますか。

A 業務に支障がない範囲であれば問題ありません。

Q 備北消防は女性が安心して働けますか。

A はい! 給与などの勤務条件も男性職員と同様です。また、育児休業などの出産・子育て支援制度もあります。

備北消防で活躍する女性消防士

にインタビュー！



- Q1 志望理由
- Q2 消防士になってよかったこと
- Q3 今後の目標

Q1 高校生のとき、西日本豪雨を経験しました。私の地元も土砂崩れなどの被害を受け、父親が消防団員として地域のために活動している姿をみて、消防という仕事に憧れをもちました。それまでは特にこれといった夢もない状態でしたが、この経験がきっかけとなり、生まれ育った町で多くの人役に立てる消防士になりたいという夢を持ちました。

Q2 現場や訓練での活動は男性に体力面で劣る部分があることや人の生命に関わるような決断を数秒で決めなければならないとても大変な仕事です。しかし有事の際に現場へ急行し被害を最小限に食い止めることができたときや、現場で女性だからこぞできる対応や声掛けで、上司や傷病者の家族から「女性がいてくれてよかった」と言っていたときはそれ以上の達成感ややりがいを得ることができることです。

Q3 現在は、消防用設備の届出に関する業務や建築物の検査を行う係に所属していますが、将来的に救急救命士の資格を取り、観察や必要な処置を行い病気やけがで苦しんでいる人を救うことを目標としています。



- Q1 志望動機
- Q2 仕事内容
- Q3 家庭と仕事の両立



Q1 小学生の時に、同級生が亡くなる事件があり、人のためになる仕事につきたいと思うようになりました。その後、進路に悩んだ際に救急救命士という仕事を知り、助けを求める人の元に駆けつけるというこの仕事に強い魅力を感じ、救急救命士を志したことがきっかけです。

Q2 採用時、女性が夜勤のできる施設（仮眠室・トイレ・シャワー室）が無かったため、予防係として毎日勤務をしていました。施設が改築されたのち、交代勤務（24時間勤務）となり救急隊として救急業務及び庶務業務に携わるようになりました。消防隊を兼務することもあるので、火災があれば出勤もします。現在は、子どもを出産し育休取得後、交代勤務に復帰しています。

Q3 現在2児の子育てを行いながら勤務にあたっています。子どもはすぐに体調を崩すなど、想定外の休暇が必要となることがあります。備北消防では子育てに関する休暇制度・支援制度が充実しており、職員の皆さんに理解していただきながら安心して勤務することが出来ています。

私が利用した具体的な休暇・支援制度（一例）

産前産後休暇…出産前に取得

育児休業…第2子が1歳半まで取得（3歳まで利用可能）

部分休業…仕事復帰後フルタイムではなく短時間の勤務（小学校就学期まで利用可能）



- Q1 志望動機
- Q2 仕事の魅力
- Q3 働くうえで大変なこと



Q1 私は、地元の災害救助に貢献したいと考え、備北地区消防組合の消防士になりたいと思いました。私が生まれ育った地域は、雨で川が氾濫しやすい土地です。実際に川が氾濫したときに、消防士である父が消防署に向かう姿を見たことがあります。その姿を見て、私も災害救助技術を身に付け、生まれ育ったこの地域の安全に貢献したいと考えるようになり、父の仕事でもある身近に感じる消防という仕事に興味を持ち、消防士になりたいと考えるようになりました。

Q2 世の中には、目に見えない部分でも人の役に立っている仕事がたくさんありますが、消防は直接的な人助けができる仕事です。例えば、火事を未然に防ぐこと。これができれば火災で命を落とす人は格段に減ります。そのため、建物の防火上の安全性や消防用設備の検査や住民の方の災害意識を高めるための呼びかけをしています。地域や社会の安心・安全を守る存在として活躍できる事が消防の魅力です。

Q3 消防の仕事として「予防・警防・救助・救急」、これらを全てプロフェッショナルとしてこなさなければなりません。どの仕事も覚えることがたくさんあり、体を使う仕事もあれば、関係法令を参考とするデスクワークもあります。どれかが欠けることなく、日々の訓練やデスクワークに一生懸命取り組むことが大変です。